

Fitness Industry Association



NEWS

編集:(株)クラブビジネスジャパン
TEL.03-5459-2841
FAX.03-3770-8744
E-mail:info@fitnessclub.jp
http://www.fitnessclub.jp

発行:(一社)日本フィットネス産業協会
TEL.03-5207-6107
FAX.03-5207-6108
E-mail:info@fia.or.jp
http://www.fia.or.jp

Topics

トピックス

2019年までの総括と2020年以降 フィットネス業界のプレイヤーに求められる視点

株式会社クラブビジネスジャパンでは、毎年、前年のフィットネス業界についてまとめたレポート「日本のクラブ業界のトレンド」を発売している。そこから2019年のフィットネス業界と2020年のフィットネス業界のプレイヤーに求められる視点について一部紹介する。

◆フィットネス業界、成長続く

2019年(平成31年)は、同年10月より消費税が8%から10%へと引き上げられ、需要減が懸念されたが、市場規模は前年比3.2%伸び、およそ5,000億円へと成長した。史上最高の伸びを記録した2018年には及ばなかったものの日本の経済成長率を大きく越える伸びを示した。会員数は前年比8.1%増のおよそ560万人となり、参加率は4.4%となった。フィットネス市場は2012(平成24年)より少しずつ成長してきたが、2018年(平成30年)に初めて4%台へと伸びた(*日本の参加率は海外諸国に比べ厳密にその対象を規定しているために、単純に比較することはできない)。利用率も好調だった2016年(平成

28年)~2018年(平成30年)とほぼ同水準で推移した。

(2) スイミングスクール事業や受託部門の成長

フィットネス部門以外では、スイミングスクールの入会者の増加、自治体や法人等からの運営受託(※指定管理を含む)などの増加も、増収増益に貢献した。ただし、スイミングコーチの求人には、各社苦勞している。

ノンカスタマーを含む顧客層のトレンドとしては、以下の動きがみられた。

(1) 団塊世代と団塊ジュニア層の参加増

日本の人口構造のなかでボリュームを形成する世代一団塊ジュニア世代一に対応した小規模目的型業態を展開するチェーン店の在籍者数が増えてきている。また、こうした2世代のユーザーは、有料のパーソナルトレーニングを受けることも多い。

(2) 都市部における24時間セルフサービス型ジムとプティックスタジオの流行

都市部においては、24時間セルフサービス型クラブや暗闇系プティックスタジオ、HIIT系スモールグループトレーニングジム(HIIT系SGT)を利用する20~40歳のユーザーが増えている。24時間セルフサービス型ジムは利便性と手頃な価格が魅力となっている。暗闇系フィットネスのヒット要因は、①没入感がある②人目が気にならない、周囲を気にしなくていい③非日常空間が体感できる④楽しみながらシェイプアップできる⑤(オンラインでの体験予約など)アクセスが容易、などがあると考えられる。HIIT系SGTは、短時間で効果的なトレーニングができることや同質的なメンバーから生まれるトライブ感が魅力となっている。

(3) スタジオエクササイズの新着化と多様化

日本は、世界的にみてもスタジオの利用率が高い水準に



28年)~2018年(平成30年)とほぼ同水準で推移した。

そして2018年に引き続き、2019年もフィットネス業界には、以下のような特徴がみられた。

(1) 既存店のリノベーションとサービス拡充

潜在需要の高いエリアに立地する既存の老朽クラブを移転新設、またはリノベーションしたり、サービスを見直し・拡充することで、会員定着を図りつつ、会員増を実現した。とりわけ、スタジオのホットヨガ対応、ジムの24時間営業化、HIIT系および、コンディショニング系のプログラムの拡充を図る

ある。特に、ヨガ(ホットヨガを含む)は日本では根強い人気がある。近年では、様々なスタジオエクササイズが開発され、参加層のすそ野が広がってきている。ピラティスやサイクル、子ども向けの運動スクールなどにも人気が出てきている。

◆求められる、新たなビジネスモデルの開発

2019年以降、フィットネス業界のプレイヤーに求められる姿勢として、下記の3点を挙げておきたい。

(1) 新たなビジネスモデルの開発

既存の総合業態の改善・改革も重要であるが、それとともに重要となるのは、顧客が満足してサービスを喜んで享受するだろう革新的な価値を備えたサービスや逸脱的なビジネスモデルの開発だろう。アプローチとしては、既存事業の周辺に新たな事業機会を探る方法と実現したい未来をイメージしバックキャストしてそこにたどり着こうとする方法がある。

今後は、HV/LP(High Volume/Low Price)型か、付加価値型かどちらかに特化した業態を展開する戦略や、特定の商圏内において多業態でドミナント化を狙う戦略をとるプレイヤーが現れるだろう。プティックスタジオなどに代表される高付加価値型業態を成功に導くポイントはCX(顧客体験)の向上にあり、その実現にはコンセプト、コンテンツ、コミュニティの3つのCがカギになるだろう。

(2) 生産性の向上

生産性を向上させるためには、CX(顧客体験)の実現を見据えて、どのようにサービスデザインするかが最重要になる。そのためには対象顧客が求める価値を明らかにしなければならない。顧客インサイトを捉え、顧客価値を実現するサービスデザインをしたい。

さらに、基本的なオペレーションについては、「標準」の仕組み化に取り組み、将来に向かって品質が漸進的に良くなっていくように努めていくことが求められる。そこでは、デジタルテクノロジーの活用も重要になってくよう。

(3) 人材の確保と育成

人材不足が深刻化していくことは明らかだが、そうした流れのなかで、いかに優秀な人材を確保し、とりわけ最前線でサービスを提供していくスタッフがいきいきと働けるようにするかが大切になってくる。とりわけ大切な人材は企画開発人材(イノベーター)、支配人、トレーナー・インストラクターだ。経営者は、優良顧客や無消費者の声に加えて、彼ら彼女らのアイデアや提案も活かしてサービスを「共創」していくことが求められる。特に、上司には思いやり(母性)のリーダーシップが求められるようになってきている。

“コネクテッドフィットネス”のニューフェイスたち

—Club Business International May-Juneより

テクノロジーのイノベーションが、我々の生活の様々な面—買い物、食事の注文、音楽や映画鑑賞、コミュニケーション方法そして働き方—に変化をもたらしている。これらが指し示すことは、フィットネス業界においてもテクノロジーの重要性が増していくということだ。それは業界内の競争を激化させるとともに、新たな競合の参入も生むだろう。

クラブ運営者たちは、これからも収益性の高い運営を続けていくために、あらゆる側面からフィットネス業界に将来起こるだろうことを予測しておくことが大切だ。パーソナル、グループ、スモールグループなどに新たなサービスを導入するのであれ

イギリス・ロンドンに拠点を置くEGYMも、テクノロジーを活用した製品やサービスで、会員のトレーニング体験を広げている企業だ。「我々のトレーニングテンプレートを使えば、一人ひとりのユーザーに合わせて容易にトレーニングを調整することができるため、パーソナルトレーナーの方にも喜ばれています」と、同社のCEOであるアレックス・ピーコック氏は述べる。同社のシステムは、動きの分析や筋肉のバランスの計測のほか、トレーニングをモニタリングおよびトラッキングし、折れ線グラフで示すことで、ユーザーにわかりやすく、身体的な変化や目標への進捗具合を伝えることができる。

■開発続く、革新的なフィットネスシステム

大手機器メーカーのなかには、以前よりフィットネステクノロジーの重要性を認識しており、コネクテッド製品やプログラムの開発に早くから取り組んできた企業もある。その製品についても、以下に紹介しよう。

(1) Club4.0(テクノジム)

近年、テクノジムのMywellnessポートフォリオに新たに加わったClub4.0。これはBio Circuit、SkillRun、SkillRow、SkillBike、SkillMillに導入された革新的なトレーニングフォーマットだ。そのセッションは、テクノジムアプリを使い、トレーナーによってあらかじめ設定されている。「ユーザーはセットされたプログラムライブラリーから特定のセッションを選べばよく、簡単かつシームレスにトレーニングに励むことができます。そうして自然と楽しさとモチベーションが高まるようになっているのです」と、マナレス氏はその魅力を述べる。

(2) Milon(GmbH)

ドイツ・ミュンヘンに拠点を置くGmbHが販売するMilonも人気だ。コネクテッドされた同社のストレングマシンは、サーキット状に配置することで、スモールグループトレーニングをデ

ザ選択と集中を行い、それがもたらすチャンスと脅威、双方について考慮しなければならない。しかし、何をやるにせよ、最終的な目的は既存や新規メンバーを惹き付け、維持し、付帯収入をアップさせることである。

これまで、「フィットネステクノロジー」と聞くとモバイルアプリやウェアラブル、ヴァーチャルストリーミングなどを思い浮かべたが、今日ではさらなるハイテク技術が出現し、様々なクラブで利用されるようになってきている。例えば、カーディオマシンやストレングマシンと連動した自動チェックインシステムや、身体評価システム、トレーニングデータを管理するダッシュボードなどである。いくつかの具体例を挙げると、アメリカ・ダラスに本拠を置くゴールドジムでは、いくつかの店舗において、身体的な変化を測定するために、『GOLD'S 3Dボディスキャナー』を導入した。

「トレーナーたちは、ユーザーに提供するプログラムの効果を図り、より適切なものにしていくためにこのスキャナーを活用しています。視覚的に変化を確認できることで、ユーザーのモチベーションも高まるのです」(同社CEO アダム・ゼイティッシュ氏)

一方、1996年に早くもウェルネスシステムを導入し、デジタルイノベーションの最前線に立った、イタリア・チェゼーナを本拠にするテクノジムは、現在のキーは“カスタマイズ”だと語る。

「業界初のクラウドコンピューティングプラットフォームである当社のMywellnessは、マシンと連動することで、トレーニングプログラムやデータ管理、エンタテインメントオプションに至るまで、ユーザー一人ひとりにパーソナライズした体験を提供します」(同社グローバルメディアリレーションズディレクター エンリコ・マナレス氏)



デザインし、かつカスタマイズできることが特徴だ。「トレーナーはトレーニングデータをモニタリングしながらリアルタイムでメニューを調整することができ、そのことはユーザーをさらに目標達成へと近づけることになります。結果が現れればトレーニングが楽しくなって習慣化にもつながり、さらにクラブのサービスを購入してくれるようになるでしょう」(同社セールスマネジャー アルフ・クロスターマン氏)

(3) Reax Light System (Reaxing)

イタリアのアスコリ・ピチェーノに拠点を置くReaxingは、幅広い種類のフィットネスやスポーツ関連商品のほか、認知機能や反射神経を鍛えるプログラムなどを開発している企業だ。同社のReax Light Systemは、ライトを使って俊敏性や瞬発力をトレーニングする革新的なシステムだ。専用アプリでコントロールでき、パーソナルおよびグループトレーニングにもお勧めだ。

「このトレーニングはゲーム性が高いので、ユーザーのモチベーションを高めることができます。参加者同士で競争させたりと、刺激的で挑戦しがいのあるものとなっています」(同社副社長アラン・ホール氏)

アプリがもつ無限の可能性、追加される機能

サービス提供側を困らせることの1つでもあるが、消費者の欲求や願望は増え続ける。テクノロジー—特にユビキタスアプリ—は、その代表といえるだろう。いまやユーザーは、アプリを通してトレーニングプランやトレーニング履歴を受け取れたり、トレーナーとコミュニケーションをとれるだけでなく、レッスンの予約から支払い、さらには写真やビデオを友人とシェアできるまでを、自分のモバイル機器で完結できることを期待している。かつては目新しかったことが、今では“当たり前”になりつつあるのだ。その点において、テクノジムのマナレス氏は、「Mywellnessアプリは、ユーザーがいつ、どこにいても自分のトレーニングプログラムを確認したり、クラブ内にあるテクノジムのマシンとつながることを可能にしました。ユーザーは位置を予約できたり、トレーニングすべてをトラッキングすることができます」と自信をのぞかせる。

ほかの製品においてもトレーニングのトラッキングなど重複しているサービスもあるが、アプリが提供するメニューについてはそれぞれ異なる。例えば、Milonのモバイルアプリmilon MEは、ユーザーごとにパーソナライズされたトレーニングプランやトレーニングデータ、ランキングシステムを提供するが、トレーナーやクラブとのコミュニケーションはオプションとなっている。

一方、EGYMのアプリは、ユーザーのあらゆるフィットネス体験を管理できるうえ、「クラスを予約したり、自分の要望に合ったトレーニングを探すこともできます。さらに、習慣的にトレーニングすることによってリワードを得たり、友人を紹介することもできます。裏返せば、我々のアプリを使えば、パーソナルトレーナーがクライアントに行うような、トレーニング管理と日々のプログラム作成、進捗状況の測定などすべてを行う

ことができます」(ピーコック氏)

Relaxingもまた、ユーザーおよびトレーナーのためのアプリをもっており、ホール氏は、「トレーナーは、そのアプリを利用してトレーニングを容易に個々に合わせて調整することができますようになります。このことはユーザーの満足度を高め、トレーナーやクラブへのロイヤルティを倍増させることでしょう」と語る。

■これからのキーはデジタルとヒューマンタッチのバランス

フィットステクノロジーのそのほかのよい面は、世代を超えて人々を魅了できることだ。アトランティッククラブでは、若いアスリートたちを含めたあらゆる年齢層のユーザーがMyzoneを使用しているといい、ゴールドジムのモバイルアプリも幅広い年代に利用されているという。クロススターマン氏も、多くの人々がMilonを利用していると言い、「必ずしもフィットネス愛好家ではない方を含め、多くの高齢ユーザーを見ていると、パーソナライズされた、またテクノロジーでコネクテッドされた経験を楽しんでいるようです」述べる。

なお、多くの業界関係者が、フィットネスクラブにとってテクノロジーがもはや欠かせないものとなりつつあることに同意しながらも、人間同士のふれあいも変わらず大事であると感じている。ゼイティッシュフ氏も、「ユーザーを満足させるには、デジタルとヒューマンタッチの正しいバランスが重要」と語っている。

Information

お知らせ

1. FIA定時総会を開催

FIAは6月18日(木)弘済会館(東京・麹町)で第33回定時総会を出席25社、委任状出席59社の参加を得て開催した。2019年度事業報告・決算監査報告、2020年度事業計画・収支計画が議決及び承認された他、役員は2年の任期を終える年であることから、理事監事の選任が行われた。議案内容はFIAホームページにて公開している。

https://www.fia.or.jp/whats_fia/report/

2020年度事業計画・収支計画では、コロナ対応活動を行えるよう、業界課題対応活動として費用を計上した。

2. 第203回FIA理事会開催

総会に付随して開催した理事会において、業務執行理事(正副会長・専務理事)は、コロナ対応について業界団体として行政への一貫性維持の観点から、前年度体制を当面の間継続することとして、総会に報告した。選任された理事監事及び業務執行理事はFIAホームページをご確認ください。

https://www.fia.or.jp/whats_fia/officer/

3. FIAガイドライン説明会

6月18日総会に併せてFIAガイドラインのポイントと、改定への見直しなどについて説明会を行った。会場出席24名の他、Web試聴による参加も110名となった。

このうち6月の全国的営業再開後環境の変化に伴いクラブ・顧客からの問い合わせの多いマスク着用・マスク代替品の可否・サウナ営業の有無 などについては改定版検討に向けた準備が始まっているが、自粛要請解除後の都市部における感染数の増加を見ても、フィットネス施設からの感染事例を

出さないという大原則に照らし、直ちに大幅緩和という機運ではない。

4. 自治体による「安全運営宣言」などについて

自治体により、業界ガイドライン・自治体独自ガイドラインなどを遵守すると誓約をすることで、自治体の出す「安全運営宣言書」の掲載や発行が可能になる、さらに「接触者情報アプリ」の登録とセットになっている、などの制度を運用しており、FIAは要請に基づき県内施設の加盟企業にその協力のご案内を配信している。

これまでに、東京都、神奈川県、埼玉県、愛知県などを対象に行い、近日大阪府についてもご案内予定。各県において同様の制度があればぜひ参加手続きを。

この先再度自粛要請が取りざたされ、一律ではなく是非々々で対象選別になった際は、こうした制度に参加し、しっかりとガイドライン遵守を行っていることが求められます。

5. 国民生活センターリリース「ホットヨガに伴う体調不良注意喚起」について

7月9日国民生活センターは、ホットヨガ参加に伴って報告された体調不良事例の分析と注意喚起を公表した。クラブ等事業者に対しても、参加者の体調管理や休憩の取らせ方などの安全管理について要望している。

<http://www.kokusen.go.jp/news/news.html>

リリースの詳細は会員企業宛メール配信しています。

6. FIAマスターズスイミングやFIA全国スポーツクラブ駅伝などの行事について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、従来行っているイベントについては、国の自粛要請が緩和された場合においても、お客様の感触をはじめとするクラブ運営にあた

る皆さんのご意見を集約し、業界団体主催事業として開催の可否を決定してまいります。

このためご案内の時期が通常より遅くなります。

7. 大野元裕埼玉県知事がフィットネスクラブを直に視察

去る7月4日、大野元裕埼玉県知事がフィットネスクラブにおけるガイドラインに則した感染予防対策の実態と、その管理下でお客様がエクササイズをされている様子を視察されました。その日は他業種の視察も予定され導線上の効率から、ルネサンス浦和店様が指定されました。

およそ30分間、入り口での検温、体調確認のオペレーションから、ロッカールームやパウダールームをはじめ肝心の運動施設内での感染予防対策の実態もつぶさに視察されると共に、エクササイズされているお客様の様子を直に声を掛けられながら確認されました。

視察を終えた大野知事からいただいたコメントは、以下の通りです。

埼玉県では、緊急事態宣言解除後、全国でフィットネス施設の休業要請が解除される中で、6月5日まで解除がされず最後の最後となった。

その理由はフィットネス施設に於いては、運動を行われるお客様からの呼気の排出が特に活発であるという点がネックとなり、結果最後まで検討のテーブルに乗った。

しかし、今回の視察で、だからこ他の業種よりも具体的かつ厳格なガイドラインが策定されたということ、そしてそのガイドラインに沿った運営が実行されていることを身をもって

には、やはり国にオーソライズされ、各自治体が判断基準の拠り所とする位置付けである、“業界ガイドライン”を遵守することが重要です。今後、感染拡大が広がり、特定業種への自粛要請が検討されるようなことが起こった場合、前回の緊急事態宣言のケースとは異なり、自治体の自主判断が一層色濃くなることが予想されます。

そうした場合を想定すると、自治体との信頼関係は国との信頼関係と同等以上に大切な分野ではないでしょうか。今回の大野埼玉県知事の施設訪問と、その後のコメントから強く実感しました。

その信頼関係を築く重要な一歩が、ガイドラインの遵守であると考えます。

現在FIAでは、埼玉県以外にも、東京都、神奈川県、そして大阪府などからの要請を受けて、各自治体がFIAガイドラインをベースに定めた業界ガイドラインの遵守状況の確認を前提とした安全の可視化の取り組みに積極的に協力しており、こうした自治体の動きは拡散していくことが予想されます。

FIAは、今後、国との取り組みはもちろん、こうした自治体との連携もしっかりとはかってまいります。

さて、一方では自粛要請解除以降徐々にお客様も戻ってこられています。

また、フィットネス施設における感染防止のポイントも以前よりも明らかになってきています。

そうした点を鑑みて、感染予防の徹底と共に、一人でも多くのお客様にできる限り快適にフィットネスを実践していただけるようなガイドラインの見直しにも着手してまいります。

マスク着用での運動やトレッドミル・ロッカーの間引きなど課題も多いですが、再度フィットネスからクラスターが出るということは阻止されなければなりません。

クラブ経営の活性化を前提とした議論の上で慎重かつ適切に対応してまいります。

そして再度、毎日の薬の処方のように運動を必要とする

実感すると共に、何よりもお客様が感染予防の徹底をされながら運動されている様子を見て安心した。

今後第二波も迫っている状況ではあるが、我々も前回の経験から学んだことも多い。

今後は、このようにガイドラインに沿ってビジネスを実践する事業者とそうでない事業者を明確に見極め、前提としては経済活動を極力回しながらコロナ禍と向き合っていきたい。

これから問われるガイドラインの意義とその遵守に基づく自治体との信頼関係

今後、フィットネス施設においても新たな罹患者の利用が発覚することは避けられないと考えます。言うまでもありませんが、大事なはその先での感染を阻止すること、そして万が一感染が起きてしまったとしても、それが施設内のどこでどのように起きたかをできる限り明確にし、その事象をガイドラインと照らすことだと考えます。

今後の事業への取り組みに於いては、まずは感染拡大の第二波、第三波は十分予想されることであると共に、治療や予防に確実な効果のある薬が開発され広く一般に行き渡るまでには、長い時間がかかるという事を前提にするべきでしょう。

そうした状況の中でフィットネス産業は、過去のダメージを補うだけでなく、プラスに転じていかなければなりません。

既に戻ってきていただいているお客様、恐る恐る利用再開を考えているお客様はもちろん、今回のコロナ禍によって、健康を保つためには日常の適度な運動で免疫力・抵抗力を身につける必要性を実感した多くの潜在顧客のフィットネスへのコミットメントをあらためて確実にしなければなりません。

まずはフィットネス施設からの感染を出さないこと。そのため

方々から、運動実践の場を奪う健康二次被害が起きないように、FIA加盟企業一丸となって取り組んでいきましょう。



大野埼玉県知事

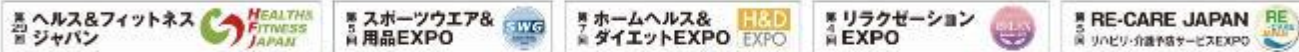
Member's Board

会員掲示板

SPORTEC(株)より、12月2日～4日に開催します
「SPORTEC×HEALTH & FITNESS JAPAN」のご案内

会期が変更となり、12月に開催！

日本最大のスポーツ・フィットネス・健康産業総合展



会期 2020年 **12月2日水**～**4日金** 10:00～18:00
(最終日は17:00まで)

出展社
募集中

会場 東京ビッグサイト 青海展示棟 A・Bホール

●りんかい線:「東京テレポート」駅下車 徒歩約2分 ●ゆりかもめ:「青海」駅下車 徒歩約4分・「お台場海浜公園」駅下車 徒歩約6分

主催 SPORTEC 実行委員会

【お問合せ先】

展示会運営事務局 (TSO International株式会社内)

TEL:03-6273-0403 E-mail:info@sports-st.com

SPORTECオンラインセミナーを
毎週開催!詳しくはWEBから!

<https://www.sports-st.com/hfj/>

スポルテック



- ※ ご来場には、事前来場登録が必要となります。複数名でご来場の場合は、人数分のご登録が必要です。ご登録がない場合は入場いただけませんので、予めご了承ください。
- ※ ご来場の際には、身分証明書をご確認させていただきますので、名刺の他に身分証明書をお持ちください。体調の優れない方、37.5度以上の熱のある方などは医師・看護師の判断により入場をお断りさせていただく場合がございます。感染症対策の一環として、セキュリティを高めた運営にご理解とご協力をお願いいたします。

Member's Board

会員掲示板

株式会社ハイパーフィットネス
東京都町田市・町田駅前にwithコロナにも適応した先進
のジム・スタジオ型クラブを新規出店

この度、株式会社ハイパーフィットネス(本社:神奈川県川崎市、代表取締役:亀田政幸)は東京都町田市の小田急線・町田駅前にジム・スタジオ型クラブ「フィットネス&スパ あすウェル町田」を2020年9月にグランドオープンすることをご案内させていただきます。

当クラブは町田駅徒歩2分の利便性の高い立地に、最新鋭のフィットネスマシンをフルラインナップする24時間利用可能な大型トレーニングジム、女性に人気の高い本格ホットヨガやバリエーション豊富なプログラムを提供する多目的スタジオ、ウェアラブル等を使って効果的なトレーニングを楽しんで頂くボディメイクスタジオを導入します。プログラムはバーチャルレッスンもあり、24時間ご提供致します。また、リラクゼーション効果の高いドライサウナとミストサウナも完備しております。

さらに、自宅からでも気軽に各種レッスンに参加出来るライブレッスンシステムやキープディスタンスに配慮したトレーニングエリア、AIサーモカメラ、除菌システムを導入し、withコロナにも適応したクラブとしてスタートします。その他、顔認証によるチェックインや最新のセキュリティーシステムを導入する等、先進のフィットネスクラブとなります。

オープン前募集における会員料金はプレミアム会員が月額4,500円(税別)とお手頃料金に設定。

「ハイクオリティーなフィットネスをもっと気軽に楽しく、とつてもお得に！」をコンセプトにフィットネスを生活に取り入れ、楽しんで頂けるクラブとして様々なサポートシステムも順次導入を予定しており、地域の皆様に快適なエクササイズ環境をご提供させていただきます。

尚、株式会社ハイパーフィットネスでは、大型総合クラブの出店に加えて、都市型コンパクトクラブ、そして町田店に続く中規模ジム・スタジオ型クラブと3つのビジネスモデルによって、今後も積極的に新規出店していく方針です。



■クラブ概要

クラブ名 : フィットネス&スパあすウェル町田

所在地 : 〒194-0021

東京都町田市中町1-2-5

SHELL MIYAKO V 4F・5F

オープン : 2020年9月(予定)

URL : <http://www.asuwell.jp/machida/>

■本件に関するお問い合わせ

担当 : 池田

TEL : 044-966-8746(代)

E-MAIL : ikedat13@hyper-fitness.com

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定について

免疫力向上の落とし穴

緊急事態宣言に伴う休業要請解除から営業再開し、少しでも会員の皆様に安心して利用いただく、運動していただくために尽力されていることと思います。そこで、最近では来場の動機づけとなるよう「免疫力向上」をアピールする機会が多いかと思えます。しかし、免疫力向上との表現には落とし穴があります。

免疫とは「自己と非自己を見分ける」「病原体等を侵入・増殖させない」「一度さらされた病原体等に即応する」等の機能があります。これらの機能をB細胞、T細胞、NK細胞等が連携して行う身体のシステムです。一方、アレルギーや自己免疫性疾患にもつながるものです。



つまり、免疫とはこのシステムが健全に働くことであり、単にパワーを向上させるものではないことに注意が必要です。免疫機能を低下させないためには、十分な休養、睡眠、栄養、ストレスの解消、適度な運動、規則的な生活などが重要です。単純なことですが、感染症対策としてもこういった「健康的な生活」にしかず、というところがあるのです。こういったものは明確なエビデンス(科学的根拠)が示しにくかったり、数値化できなかつたりしますが、しかし経験的によく知られている事実からも導かれる結論です。

私たちの身近な例では、「ダイエット」に関する考え方に似ているのではないのでしょうか。ただ単に体重減をアピールすることに落とし穴があることは、従事者であれば誰でも知っています。

常に運動するネットワークを意識して、求める機能を活性化させるために、今何がなかできるのかを理解し、実行することです。フィットネスクラブマネジメントを学ぶ意味も同様です。フィットネスクラブにおいて指導、接客、施設・設備、コミュニケーション等様々な求められる機能があります。そして、それぞれの従事者に役割があります。その一人一人が単にパワーアップすることで、お客様に満足していただき、組織が持続的に発展するか考えてみるのが重要です。

そのために、フィットネスクラブマネジメントを学び、技能検定試験にチャレンジして下さい。

技能検定は選抜試験ではありません。合格基準をクリアすれば全員合格できます。学んだことは生涯の財産になります。資格をもつことは崩れない自信となります。

2020年度もフィットネスクラブ・マネジメント技能検定試験を実施します。

新型コロナ感染症対策について

2020年5月9日に厚労省より通知にあった技能検定に関する新型コロナ感染症拡大防止ガイドラインにそって実施します。

★受検者及び試験官等への依頼事項

- ・試験2週間前の体調不良時の報告、試験当日の体調確認・報告。
- ・マスク持参及び会場内での着用。

★試験会場の対応

- ・会場で出入り口の消毒液設置する。
- ・配席は定員の50%程度にし、受検者の間隔を1m取る。
- ・試験中、原則ドアは2方向開放し、適宜換気する。
- ・退場は一定の人数毎に行い出口に集中させない。

★試験日:2020年11月22日(日)

受付申込期間:2020年8月1日(土)~9月22日(火)

受検申請方法:インターネットにて、FCM検定ホームページから(以下URL参照)

<https://fcm-test.jp/flow/>



Associate members

賛助会員紹介

株式会社アルティマボディ



企業PR

弊社は国内フィットネス産業発展の為に、複数の信頼できる海外メーカーから中間マージンを省き直接輸入することにより高品質な関連商材を「適正価格でご提供する」。また、コンパクトな組織ならではの機動力により「スピーディな顧客対応をする」。以上2点を大命題としております。また、床材から業務用マシンまでクラブ運営に必要なアイテムをトータルで扱っていることに加え、現場経験が豊富なスタッフにより市場ニーズ、顧客ニーズを的確に捉えることができるのが強みです。

主要商品・サービス

Impulse/業務用マシン全般

工場直接輸入により適正価格で、発注から搬入設置まで約45日という最速納品を実現。

○カーディオマシン ○ウエイトスタックマシン ○プレートローディングマシン ○フリーウエイト ○ウエイト収納ラック

LivePro/フィットネスギア

高品質でスタイリッシュなデザインと、見るだけでも楽しい程の豊富なラインナップ。

○フィットネスギア全般 ○フリーウエイト ○ファンクショナル ○スタジオ ○ストレッチ ○リカバリー ○ボクシング

Berson<BS Rubber>/ゴム床

防音・衝撃吸収ジム用ラバーマット

高品質なゴム床は防音・衝撃吸収・安全性・疲労軽減など多くのメリットを有します。

○ラバーロール ○インターロックタイル(4mm/6mm/8mm/10mm)

○ラミネートインターロック ○ラミネートラバーロール(15mm/20mm)

○ラバータイル(20mm/30mm/50mm)

○アンダーレイ(20mm)

※(財)日本防災協会「防災マーク」取得済

会社概要

会社名/株式会社アルティマボディ

代表者/代表取締役 中島 康晴

所在地/〒151-0064 東京都渋谷区上原3-7-22 毛利ビル3F

担当者名/営業部 白井仁之

連絡先/TEL. 03-6450-5575

FAX. 03-6450-5576

e-mail / info@ultimabody.com

URL / http://www.ultimabody.com

New Clubs

出店情報

7月のオープンクラブ

コパンスポーツジム美濃加茂

所在地:岐阜県美濃加茂市太田町1916-1 中央体育館プラザちゅうたい内

●FIA会員

美濃加茂市

ホリデイスポーツクラブ小牧

所在地:愛知県小牧市東1-23

コーシンスポーツジム

所在地:大阪府 大東市深野5-22-3

スマートフィット100今羽

所在地:埼玉県さいたま市北区吉野町1-28-12

ロコスポーツ横須賀

所在地:神奈川県横須賀市本町2-1-12

コースカベイサイドストアーズ5F

ピラティススタジオAXE

所在地:兵庫県伊丹市中央1-5-3 ボントンビル2F

(SDF24阪急伊丹駅前内)

エニタイムフィットネス吉岡大和町

所在地:宮城県黒川郡大和町吉岡まほろば2-1-2 1F

コスギ サード アヴェニュー 2F

エニタイムフィットネス新白河

所在地:福島県白河市新白河1-103 1F

エニタイムフィットネス京王堀之内

所在地:東京都八王子市堀之内3-29-16

アクラブ堀之内 1F

エニタイムフィットネス武蔵小杉

所在地:神奈川県川崎市中原区小杉町3-600

エニタイムフィットネス小田原巡礼街道

所在地:神奈川県小田原市国府津2700-1 1F

エニタイムフィットネス妙典

所在地:千葉縣市川市妙典5-13-33 2F

エニタイムフィットネス半田

所在地:愛知県半田市山代町1-102-6 1F

エニタイムフィットネス阪急豊中駅前

所在地:大阪府豊中市本町1-1-1 ティオ豊中 1F

エニタイムフィットネス名護

所在地:沖縄県 名護市宮里7-1-65 1F

エニタイムフィットネス飯塚片島

所在地:福岡県飯塚市片島1-576-4 1F

エニタイムフィットネス鏡原

所在地:沖縄県那覇市鏡原町34-36

アクロスプラザ小禄 2F

FIT365浦和田窪

所在地:埼玉県さいたま市緑区太田窪3-16-1

FIT365刈谷

所在地:愛知県刈谷市稲場町3-303

FIT365大津瀬田

所在地:滋賀県大津市瀬田1-1-1

アクトスWill_Gらら・パーク天童

所在地:山形県天童市南町1-1-40 らら・パーク天童内

アクトスWill_Gコーナン川崎小田栄所在地:東京都川崎市川崎区小田栄2-3-1
コーナン川崎小田栄店2F**アクトスWill_Gイオンタウン水島**所在地:岡山県倉敷市水島高砂町3-11
イオンタウン水島内**快活クラブFiT24厚木林**

所在地:神奈川県厚木市林5-23-5

快活クラブFiT24上尾西口駅

所在地:埼玉県上尾市柏座1-13-20

快活クラブFiT24松本南

所在地:長野県松本市平田東2-17-6

快活クラブFiT24西宮丸橋

所在地:兵庫県西宮市丸橋町4-24

快活クラブFiT24西新

所在地:福岡県 福岡市早良区西新4-8-39

快活クラブFiT24ワンダーシティ南熊本

所在地:熊本県熊本市中央区九品寺6-9-43

快活クラブFiT24名護

所在地:沖縄県名護市字宮里1592

ホットヨガスタジオLAVAイオンモール新発田所在地:新潟県新発田市住吉町5-11-5
イオンモール新発田1F**ホットヨガスタジオLAVArらぽーと豊洲3**所在地:東京都江東区豊洲2-2-1
アーバンドックららぽーと豊洲3 2F**ホットヨガスタジオLAVAゆめタウン呉**

所在地:広島県呉市宝町5-10 ゆめタウン呉 2F

ホットヨガスタジオLAVAイオンモール三光所在地:大分県中津市三光佐知1032
イオンモール三光2F**ホットヨガスタジオLAVA長崎浜屋**

所在地:長崎県長崎市浜町7-11 浜屋百貨店 別館7F

Issue

記事

「令和版ブートキャンプ」 オンライン化で入隊続々

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、外出を自粛している人も多い。そんななか、注目されているのがスマホやタブレットを使って行うオンラインフィットネス。なかでも大きな話題となっているのが、約15年前に大ヒットした「ビリーズブートキャンプ」の最新版だ。オンラインフィットネスサービスを提供するLEAN BODY(リーンボディ、東京・渋谷)が配信する「令和版 ビリーズブートキャンプ」は、1日30分のプログラムを7日間行って腹筋などを鍛えるエクササイズの内容。2020年4月11日に配信が開始されると、2日間で7,000人、約2週間で1万,200人の新規会員を獲得した。「外出自粛要請が始まる前の20年1月と比べて、新規登録者数は約14倍に伸びた。ビリーズブートキャンプの内容は約2週間で2万1,000回再生されている」とLEAN BODYの中山善貴社長は話す。ビリーズブートキャンプといえば内容のハードさに挫折する人が多かったことでも知られている。そこで、令和版はフィットネスの強度を下げた。さらに、既存版は1回のプログラムが30分~1時間と長かったが、令和版は全体的に短くして30分に統一した。

(2020.6.2 日本経済)

新宿中央公園の集客施設、「シュクノバ」7月16日開業、ボルダリング設備も設置

東京都新宿区が民間資金を活用して新宿中央公園に建設している集客施設「SHUKNOVA(シュクノバ)」が7月16日、開業する。カフェやレストラン、フィットネスクラブなどが入居する2階建ての施設で、区が公園北部に再整備した約8,500平方メートルの芝生広場に併設する。公園周辺を走るランナー向けのロッカーやシャワー施設も備える。

シュクノバは、新宿の「宿」とラテン語で「新しい」という意味の「ノバ」を掛け合わせた。フィットネスクラブにはヨガスタジオや、東京五輪で初めて種目となった「スポーツクライミング」で注目される「ボルダリング」設備も設置する。

新施設は、区が公園再生事業の一環として事業計画や運営を民間に委ねる形で実現した。建設も運営も都市再生機構(UR)のグループ企業で施設管理を手掛ける新都市ライフホールディングス(東京・新宿)が担う。テナント収益で公園施設を維持管理する。

(2020.6.5 日本経済)

アステラス製薬・横浜市・横浜市大、産官学連携により科学的根拠のある運動プログラムを開発

アステラス製薬株式会社は神奈川県横浜市と公立大学法人横浜市立大学との連携により、科学的根拠のある運動プログラムを開発した。同社は、フィットネスクラブを通じて、この科学的根拠のある運動プログラムを活用したフィットネスサービスを地域限定で2020年中に開始する予定。医学と運動の融合による科学的根拠に基づいたヘルスケアソリューションの創出と提供によって、適切な運動が実践される社会の実現を目指していく。

(2020.6.5 日本経済)

広がる在宅「筋」務、用具が人気 オンラインで指導も

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、自宅で体を鍛える在宅「筋」務が広がっている。スポーツ用品店では室内でのトレーニング用品の販売が急増。好みのトレーナーからオンライン指導を受けられるサービスも始まる。「3密」を避けた運動スタイルが広がりがつつある。大阪・心斎橋に店舗を構えるスポーツタカハシ(大阪市)では、腕立て伏せの補助器具や腹筋を鍛えるローラーなど自宅でのトレーニング用品の売り上げが4~5月に昨年の2倍に増えた。本格的な筋トレ器具を扱うゼビオグループの「ファイティングロード」では、ダンベルやぶら下がりが健康器などの人気が高まっている。通販サイトの売上高は3月下旬から4月中旬にかけて約2倍になり、在庫切れの商品も相次ぎ一時閉鎖したほどだ。

自宅での筋トレを後押しするサービスも始まる。スポーツクラブを3店舗展開するアイマデザイン(大阪市)は9月にもオンラインでのパーソナルトレーニングを橋渡しする事業を始める。コロナ禍で仕事が減ったトレーナーも多い。まず30人ほどの指導者を呼び込み、顔写真や得意な指導分野、趣味などを登録する。利用者は写真などを基に好みのトレーナーを選び、ビデオ会議サービス「Zoom」などを通じて指導を受ける。アイマデザインは手数料が収入となる。

上野恭育代表は「コロナ禍では既存のジムのモデルは通用しない。トレーナーが個人で稼げるモデルを作りたい」と語る。勤務だけでなく身体も鍛える在宅の「新常态」に向け、企業も対応を急いでいる。

(2020.6.6 日本経済)

コロナ後にオフィスは必要？ 割れるシリコンバレー

「アフターコロナ」も見据えた働き方をめぐって、米シリコンバレー企業の判断が割れている。ツイッターが世界の全従業員に無期限で在宅勤務を認める一方、アップルは段階的にオフィス勤務に戻す方針だ。様々な専門性を持つ従業員が部門を超えて交わるオフィスは各社の創造性の源泉にもなってきた。生産性を最大化するための最適解はまだみえない。

(2020.6.6 日本経済)

リーボック、フィットネス会社と契約解除 差別的投稿で

アディダス傘下のスポーツブランドである英リーボックが7日、フィットネスジムを運営するクロスフィットとのスポンサー契約を解除すると発表した。クロスフィットの創業者兼最高経営責任者(CEO)のグレッグ・グラスマン氏が、白人警官による黒人暴行死事件を巡り差別的な投稿をしたとして批判を受けていた。リーボックは2010年にクロスフィットと10年のスポンサー契約を締結し、20年末で終了予定だった。声明では「新たな契約について協議していたが、最近の出来事を踏まえてパートナーシップを20年末で終了することに決めた」としている。グラスマン氏は6日、「差別は公共衛生問題だ」とするツイッターの投稿に対して、「これは『FLOYD-19』だ」と返信。白人警官の暴行により死亡したジョージ・フロイドさんの名前から新型コロナウイルス(COVID-19)を連想させる投稿が非難されていた。クロスフィットは欧米中心に世界で約1万3千店を展開。日本でも「リーボック公式フィットネス」として、約50店展開している。

(2020.6.9 日本経済)

米オンラインフィットネス急成長—

月39ドル、精神も鍛え仲間探し

「3密」が懸念されてきたフィットネス。新型コロナウイルスの影響で、どこも業績は苦戦していると思うのが当然だ。しかしロックダウン中でも、米国で急成長しているフィットネスの会社がある。「次世代のアップルになるのでは」と注目される「PELOTON(ペロトン)」だ。ビジネスモデルはあらゆる面で完成されている。まず、顧客は2,000ドル程度で、大型画面付きのエアロバイクやトレッドミルを購入する。それを使って家でカリスメインストラクターのレッスンを、月39ドルのサブスクリプション(定期契約)で受けられるのだ。オンラインレッスンが受けられるだけでも優れたサービスだが、人気の理由はそれだけではない。それはダイエットや体づくり以外の価値を提供していることだ。例えば「精神修養」。日曜午後の人気プログラムはアディダスのグローバルアンバサダーで、フィットネス界のセレブ、アリーラブ女史が行う「ラブ女史とともに過ごす日曜日(SUNDAY WITH LOVE)」。「教会の儀式」に近いと評する人も多い。敬虔(けいけん)なクリスチャンが日曜日に教会に行くように、教会に行かない人たちが肉体の限界を超え、精神を修養するからだ。ダイエットより神聖な活動といえる。このように、ペロトンは自宅にいながら、あらゆる価値を提供してくれるのである。

(2020.6.14 日経MJ)

RIZAP、赤字55億円 1~3月期最終

RIZAPグループが10日発表した2020年1~3月期の連結決算(国際会計基準)は最終損益が55億円の赤字(前年同期は112億円の赤字)だった。コロナ禍でフィットネスジムや傘下のアパレル事業が苦戦した。20年3月期でみて最終赤字額は60億円(前の期は194億円の赤字)。2期連続の大幅赤字を受け、金銭消費貸借契約上の財務制限条項に抵触したが「取引先の金融機関からは債務返済を請求しないとの承諾を得ている」という。

(2020.6.10 日本経済)

棒高跳びなど「リモート大会」続々 トップ選手参戦

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で多くのスポーツイベントが中止となる中、選手がインターネットを通じて遠隔で対戦する「リモート大会」の開催が相次いだ。棒高跳びやアーチェリーなどではトップ選手が参加する大会が開かれ、全世界に動画が配信された。コロナ後のスポーツの新たな形として定着するか、注目される。

5月17日に開かれたアーチェリーの国際大会決勝。コロンビアの女子選手、サラ・ロペスが弓を引く。放った矢は見事に的の中心を捉えた。10点だ。「パーフェクト！」と実況が叫ぶ。優勝を決めたロペスはカメラを手に持って自身を映し、笑顔を見せた。決勝ではロペスと男子のアンドレ・ファウスタ(ノルウェー)が対戦。146—144で優勝を決めたロペスは「これは歴史の一部。素晴らしいアーチェリー選手たちと対戦できた」。賞金はコロンビアの慈善団体に寄付するという。試合途中でネット回線のトラブルによって映像が中断する場面もあり、「最初は少しいらだっただけけれど、家族が助けてくれたわ」と話した。

(2020.6.12 日本経済)

JALとDNP、ウオーキングでマイル付与

日本航空(JAL)と大日本印刷(DNP)は15日、ウオーキングや公園などを訪れながらマイルがためられるサービスを始めたと発表した。順次、観光振興や地域産業支援などの取り組みと連動させていく方針だ。マイルとの接点を増やし、新規会員の獲得につなげたい考えだ。新サービス「JAL ウエルネス&トラベル」はJALのマイレージ会員が対象で、月額500円か400マイルで利用できる。スマートフォンの歩数計測機能と連動し、目標歩数を達成したり、国内のチェックインスポットを訪れたりする度に1~数十マイルがたまる。スポーツクラブ大手のルネサンスなど、一部のヨガスタジオやスポーツ施設で割引などの優待を受けることもできる。一連のシステムやスマホアプリはDNPが開発した。

(2020.6.15 日本経済)

スマホアプリでメタボ予防、効果検証

音響機器大手のオンキヨーは、富山大学らとスマホアプリを活用したメタボリック症候群や糖尿病の予防・進行抑制について共同研究すると発表した。食事や運動の記録、生活習慣指導などをアプリを通じて1年間実施し、効果を検証する。オンキヨーはスポーツ選手向けに食事管理アプリなどを提供しており、共同研究を通じて一般消費者にも使えるアプリ開発につなげる。

(2020.6.30 日経産業)